

NZSJ は 1959 年 11 月から数えて、今年は創立 59 年目を迎えております。

日本ニュージーランド協会 ニュースレター

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN

WAIHEKE 2018 年 11 月号

HP: <http://nzsj.tokyo>

\*\*\*\*\*

## NZSJ クリスマスパーティのお知らせ

日時: 2018 年 12 月 1 日 (土) 18:30 ~ 21:00

( 18:10 受付開始 )

会場: Newzea Platform (ニュージープラットフォーム)

東京都渋谷区神山町 42-3 3F-4F

JR 線・銀座線・井の頭線 渋谷駅 徒歩 15 分

千代田線 代々木公園駅 徒歩 5 分

小田急線 代々木八幡駅 徒歩 8 分

会費: 6,000 円

※ NZ ワイン等のプレゼントを用意します。

参加希望の方は 11 月 28 日 (水) までに、

最寄りの理事 または [nzsj@outlook.jp](mailto:nzsj@outlook.jp) まで連絡をお願いします。



ニュージープラットフォーム

## 10 月例会「那須高原ツアー」の報告

2018 年 10 月 13 日、14 日 那須高原「ログペンション ペペロツ」にて



まずは、那須のペンションでお世話になりました上原さんのプロフィールをご紹介します。上原さんは日本の会社を早期退職し、かねてより懇望していた NZ ロングステイにチャレンジ！ AKL に初入国時、即車を購入、自宅の購入手配等々、常人を越えた行動力に脱帽♪ AKL 空港近くの TAKANIINI に NZ 渡航以来 4 度目の自宅を購入し、NZ 経済バブル全盛の中、悠々自適の生活を送る。NZ

に来て、絵画、詩作に目覚め、評価が高い作品数も多く、又自費出版「夢は叶う」を発刊、日本での会社の後輩、知己の人々からの広く慕われている希有人材である。又、AJCC にも深く関係し、日曜礼拝でのギター演奏、海外から礼拝者への応対等々充実した第 2 の人生：NZ 生活をエンジョイしていました♪

現在は日本に帰国されて、那須高原でペンションを経営されています。当協会メンバーで理事でもあります、神谷さんのご紹介で、今回のツアーを企画し実施されました。

例会としての一泊泊まりの那須高原への計画は久しぶりでしたので、都会の騒音から逃れ、新鮮な空気、自然に触れ、参加された皆さんは心を癒され、気分転換されたのではないかと感じています。



ペンションの室内には上原さんが描いたたくさんの絵画が飾られており、わたくしたちを迎えてくれました。夕食(ディナー)は上原さんご自身でシェフとして、私たちのためにフルコースのフランス料理をご準備くださり、ディナーではワインを飲みながらニュージーランド産のステーキなどを満喫し、上原さんを交えての楽しい語らいと共に夜更けまでアツという間の時間が過ぎさりました。翌日は那須ロープウエーで茶臼岳を廻り、那須塩原駅までの途中にあるチーズ館に立ち寄り、帰途につきました。

この度の旅行で上原さんには大変お世話になりました。又機会があれば、有志をつのり訪れたいと思っております。

日本ニュージーランド協会  
会長 山崎 弘子

## NZSJ 9 月例会の報告

9 月 8 日(土)に TESS 英会話スクール蒲田校で齋藤 俊 氏を講師として「オークランドとウインドサーフィンと私について」という題で講演していただきました。齋藤 俊 氏は独自開発の和紙繊維のメーカーキュアテックスにて海外外営業担当をしていますが、2008 年から約 3 年間ニュージーランドのオークランドに留学し、その時にウインドサーフィンの国際大会に出場しました。今回はウインドサーフィンとの出会いやニュージーランドでの活動について、当時の写真を見ながらお話していただきました。

内容は

- ウインドサーフィン概要と試合形式
- オークランド市とウォータースポーツ
- 齋藤氏の現地での経験と繋がり(NZ の若手プロに引き継がれる意志)
- 現在と将来への働きかけについて(NZ の繋がりからの交流と現職とスポーツを通しての環境保護

についてでした。



また、最後にその一環としての NZ 映画”ラストパラダイス”を紹介していただきました。

日本ニュージーランド協会  
理事 水野 伸夫

## 季節のごあいさつ(2017)

### 空港での出来事

2月の日本への帰国からNZへ戻ったのが3月4日の早朝です。NZの動植物検疫は厳しいことで有名ですが、ここで事件が起きました。今回のフライトは成田からオークランドまでの直行便だったため、成田で免税品の日本酒を2本買いました。直行便でないとアルコールを含む液体物の機内への持ち込みは出来なくなりました。赤いデザインの紙袋に入れてもらいました。

NZに着き、動植物検疫の口頭でのチェックも無事に終わり、最後に荷物のレントゲン検査があります。私たちの荷物は多く、8個ほどがありました。Hがベルトコンベヤーに、免税品の赤い紙袋を最初に乗せました。その後、バックパック、デイパックを乗せ、レントゲン装置の先にある受取りに向いました。ところがおかしなことに最初に乗せた赤い紙袋がないのです。夜を越えたフライトだっただけに、頭も少し混乱しています。どうしたのか考えてみると、ベルトコンベヤーのHの前の日本人と思われる年配の男性が、本人の分と一緒にHの紙袋も持っていたと考えるしかありません。ベルトコンベヤーの先は、ロビーへの出口で、一旦ロビーに出てしまうと逆方法に戻ることは禁止されています。

自分の荷物が持ち去られたと、レントゲン検査をしている係員に言いましたが、肩をすくめるだけ。Jによれば笑っている係員もいたとか。すべての荷物をまとめ、上役と思しき男性職員に事情を話すと、まずロビーに出て待っているように言われ、従いました。

しかし、どれだけ待っても動植物検疫所のドアは開きません。待つ間に空港のヘルプデスクで警察へ連絡してもらいました。私たちにとっては、今回のことは間違いなく盗難と考えました。すぐには行けないので、空港で待てというのが警察からの指示でした。30分近くしても何もないので、動植物検疫所のドアのベルを押しました。そして得られた結果は、「Hの前の男が持っていくのをビデオカメラで確認した、検疫所には責任はない、警察に連絡してくれ」と話すと一方的にドアを閉めてしまいました。いつものこの国の典型的な自己保身に徹するお役人の態度です。

警察へは、こちらから行きました。国際線と国内線のちょうど中間のところにあり、歩いて5分ほどのところにあります。ここでの対応は、荷物を持ち去った人物を探すというよりは、紛失物品が保険でカバーされときの証明書づくりのようなものでしたが、動植物検疫所のお役人と比べたら、ずっとましなものでした。

空港には到着いたというのに、家に着いたのは夕方になっていました。メールを確認すると旅行代理店からメールが入っていました。荷物はロトルアの空港にあるというもの。同時に警察からの電話もありました。翌々日に2時間先にあるロトルアの空港に行き、無事、荷物を取り戻しました。開けてみると日本酒2本、コート、マフラー、それに搭乗券が入っていました。この搭乗券が決め手となり旅

行代理店からメールがあったものと思われます。残念ながら持ち去ったと思われる日本人の男性からのお詫びのメッセージは残っていませんでした。何とも基本的なマナーが劣化したものです。

空港の警察で事情聴取の始まる前に「ニュージーランドを安全に旅行するための注意事項」という冊子を手に入れました。これを読んでも動植物検疫所は無法地帯とは書いてありません。NZ に来られることがあれば、自分の荷物は自分で守るようにしてください。

8 月の帰国の際には、同じように免税品を買いましたが、紙袋を裏返しにして他の免税品のものとは違うようにしましたし、レントゲン検査には前に人との間を空け、紙袋もいちばん最後に乗せました。

### 海外からのお客さま

今年はたくさんの人たちに、わが家に泊りがけで来ていただきました。日本から2組2人、豪州から1組2人、台湾から1組3人となり、滞在延日数では80日を越えました。滞在していただいている間は、冷蔵庫やパントリーの食材は自由に使っていただき、電子レンジやガスを使って、好きなように料理してもらっています。これは、わが家だけのやり方ではなく、ここではみんながこのような方法でお客さまを迎え入れています。とは言うものの、夕飯だけは何とか私たちが作っています。

このようなシンプルなおもてなしですが、どうか時間を作って、お出掛け下さい。特にお願いしたのは、2月と8月にそれぞれ1ヶ月以上、家を空けます。その間の留守番をしていただける方があれば、ご連絡下さい。

### 本の出版

経済産業調査会(東京・銀座)から執筆依頼のあったビジネス英語の本については、遅くとも来年には出版に漕ぎ着けたいと思っています。本のタイトルは「いざという時、この英語」(仮称)で、JとHとで手分けして書いています。

### Jの仕事

決まった仕事は、今年も週2回の「総理の一日」の翻訳です。それ以外には、決まったものではなく、不定期に福祉、経済、医療関係のものの日本語から英語への翻訳をしています。昨年は e-book(電子書籍)として「英会話力がアップする英語のことわざ」を世に送り出しましたが、今年は、タイトル「日本人がよくする英語の間違い」を新たに編集中です。

もう一本くらい核となる仕事がしたいところです。何か日本語を英訳したい、又は英文校閲をしてほしいとのお考えがあれば、是非ともご相談下さい。

日本ニュージーランド協会  
理事 ジリアン・ヨーク

## ジリアンさんの季節のご挨拶を読んで

毎回、楽しみに読んでいいる何気ないNZからの便りはジリアンさんの日常生活と直結した話題が多く、大変興味深く拝見しています。

私自身も緑の多い田舎の生活を過ごした経験があるだけに、ツバメやハチの話が出てきたり鳥の話題には共感することが多く、又、両国間の微妙に異なった文化や人々の考え方に改めて思いをめぐらせたりしています。

今後も達者な日本語で現地の情報を提供して下さることを願っています。

日本ニュージーランド協会  
会員 関 弘子

## 日本ニュージーランド協会の今後の予定

2019年3月16日(土): 日本ニュージーランド協会と、日本ニュージーランド学会との合同研究会

## 日本ニュージーランド協会からのお知らせ

年会費納入お願い 会員の方は 2017 年度の年会費 3,000 円を例会ご出席時にお支払い願うか、郵便局でお振込み下さい。

お手数ではございますが、今後、(本年度11月以降は)ゆうちょ銀行の

記号 10180 番号 74818531

名前 ニホンニュージーランドキョウ

へお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

尚、郵便局の振替用紙(払込取扱票)を用いた、

口座記号番号:00190-1-743478

加入者名: 日本ニュージーランド協会

への振り込みは廃止することといたしました。

日本ニュージーランド協会のホームページ <http://nzsj.tokyo>

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN(日本ニュージーランド協会)

2018年度理事(会長以外は50音順)

会長:山崎 弘子 理事:麻生 敏子、生沼 玲子、神谷 尚武、片山 愛一、

佐藤 松雄、島田 勝弘 Jillian Isabelle Yorke、真島 由香、

庄司 桂一郎(副会長)、丸山 有紀子(会計)、水野 伸夫(副会長)、

監事:梅谷 要 顧問:黛 雅男